

(別表第1の4)

目標達成計画

事業所名 アトラス馬木

作成日: 平成29年1月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	6	家族会に参加する家族が限られており、管理者は十分に家族の意見を聞くことが出来ていないと感じている。現在の取り組みを大切にしながら、家族同士が交流し本音を言いやすいように運営に工夫を加えることを期待したい。疎遠な家族には来訪時に写真やビデオ等にて日常の様子を伝える工夫を行い意志疎通を図ることを期待したい。	できるだけ、家族の参加率を上げる為、工夫していく。職員間で意見を出し合い、家族さんの意見を出しやすい環境にできる様にする。またなかなか面会にも来られない疎遠な家族さんへの対応方法も考え意志疎通できる様にしていく。	家族会に家族が気軽に参加できるように、日時や内容、時間等についても職員間で話し合い考えていきたい。また家族さんの面会時には最近の様子や状態等を詳しく説明し、希望や要望などがあれば聞き入れてそれに答えられるように実践していきたい。	12 か月	
2	8	管理者は墓参り等の個別の要望に応じて外出し利用者が大切にしてきた馴染みの関係が継続できるように支援したいと考えている。一人でも、また実行可能な事柄から、家族の協力を得て実現できることを期待したい。	施設全体での外出等は力を入れて実施しているが、個別のケアとしての要望などはあまり実践できていない為、個人個人に合わせた要望等も聞き入れ、実践できるように考えていきたい。	家族さんと協力して、今までの馴染みの関係等を把握し家族も一緒に外出等ができる様に、個別ケアを実施していきたい。その為にも、日頃から利用者とのコミュニケーションの中で要望等を聞き入れられる様なコミュニケーションスキルを身につけていきたい。	12 か月	
3	13	管理者は地域貢献の一環として、事業所を地域の一次避難所にするのを検討したいと考えている。運営推進会議で提案しつつ、地域住民の方々や法人事業所との災害時協力体制について協議していくことを期待したい。またそれに伴い、現在の備蓄品の内容や数量が適切であるか見直すことを期待したい。	地域の中での施設の役割を見つけ、自分たちが地域に貢献できることを見つけ地域の方々と共存していきたいと思っています。また備蓄品についても、自分達の施設は自分達でまかなえるように協議していきたい。	運営推進会議等の地域の方々との意見交換の場を活用させていただき、一次避難所の提案等については、話し合っていきたい。また事業所と地域住民の方々との災害時の協力体制等についても協議して関係を築いていきたいと思います。	12 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

(別表第1の5)

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()